

教育に関する事務事業点検評価結果一覧表

※教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条）

町教育委員会外部評価委員会において、「平成28年度実施に係る教育に関する事務事業の点検・評価」を実施しましたので、報告します。（5段階評価）

事業番	事務・事業名	今後の事業の方向性	自己評価	外部評価	点検・評価に対するコメント等
			総合	総合	
1	児童生徒遠距離通学費	継続	3	3	・相次ぐ小・中学校の休校に伴い、児童生徒の確保、あるいは学校の活性化のためにも、遠距離通学費は必要な事業であるので、基準にとらわれることなく弾力的な運用をお願いしたい。
2	教育文化のまちづくり活動費助成	継続	3	3	・郷土文化活動やボランティア活動も確立しつつあり、各種発表会をみても成果が上がってきている。また、地域活性化のためにも継続していただきたい。
3	古仁屋高校スポーツ・文化活動助成	継続	3	3	・古仁屋高校の存続問題もあり、今後ともスポーツ・文化活動を含めて助成することにより、活性化が図られるため、必要な事業であるので、もっとPRに努めていただきたい。
4	古仁屋高校修学旅行費助成	継続	3	3	・次世代の瀬戸内町を担う生徒達に、より多くの社会的見聞を広め、団体行動等を通じて、社会性・責任感・協調性を身につけるためにも、今後も継続していただき、もっとPRに努めていただきたい。
5	郡総合体育大会等出場補助	継続	3	3	・郷土愛、母校愛を深め、体力づくり、技術力の向上を目指し、学校の活性化を図り、規律ある団体行動を学ぶためにも必要な事業である。
6	古仁屋高校各種検定試験受験助成	継続	4	3	・古仁屋高校生徒の学力向上と、より多くの資格取得を目指すと共に、保護者の経済的負担の軽減にもつながるので、今後も継続していただき、もっとPRに努めていただきたい。
7	加計呂麻親子留学・与路海の子里親留学	継続	4	4	・町外からの子供達が自然豊かな島で、地域の人々との触れ合いを通して、豊かな人間性を育成し、学校及び地域の活性化を図ると共に学校存続へとつながるため必要な事業である。
8	幼稚園預かり保育	継続	4	4	・今後も、働く女性が安心して子どもを育てることができるよう、更なる子育て支援の対策及び充実をお願いしたい。
9	平成28年度せとうち子ども検定試験	継続	5	4	・世界自然遺産登録に向けて、自然や地域文化の理解を深め、継承するのはもちろんのこと、地域社会が理解を深めるためにも瀬戸内町旗、町民歌の浸透も図っていただきたい。また、マンネリ化しないように受験年を決め、子供たちのやる気を促すような対策をお願いしたい。
10	成人式	継続	4	4	・今後の次代を担う若者を祝福する事業として、内容の検討をし、継続していただきたい。
11	瀬戸内町指定文化財保護事業	継続	3	3	・監視員の後継者育成のため、町ぐるみの組織作りが早急に必要である。自然保護の観点からも継続が望ましい。
12	プレ・ゴールデンエイジ事業	継続	5	5	・大変素晴らしい事業である。今後もサポートや指導体制の継続的な確保を図っていただきたい。
13	平成28年度家庭教育研修会	継続	4	4	・人権・家庭教育の講話は、有意義で、家庭教育の充実を図る上では、大事な事業である。託児所も常に設置されており、今後も事業の継続が望ましい。
14	平成28年度就学时子育て学習講座	継続	4	4	・瀬戸内町独自の長年の事業であり、小学校新入学の保護者にとって、不安を和らげる必要な事業である。今後も事業の継続が望ましい。
15	せとうち出前講座	継続	3	3	・町民からの出前講座の要請は少なく、学校や自主成人学級を対象に実施している状況である。事業の趣旨やメニューの再検討及び町民へのPR方法の検討が必要である。今後、新たな公民館を活用したメニューや施設利用への促進を図っていただきたい。
16	自主成人学級	継続	4	4	・事業自体は、大変良い事業であるため、規模の見直しをし、継続していただきたい。
17	第41回町駅伝競走大会	継続	3	3	・参加地区が減少しないよう、随時参加要件の緩和を検討しながら、事業が継続できるよう努めていただきたい。
18	瀬戸内町嘉徳芸術村「ムンクスイ館」管理業務委託	継続	4	4	・施設の老朽化を防ぐ上からも、管理を委託し、施設を有効利用することは重要である。看板等の設置及び位置の変更を検討し、町内外へのPR活動に努めていただきたい。
19	古仁屋中学校区支援地域本部事業	継続	3	3	・地域全体が一体となり、子どもを守り育てる環境づくりを推進するためにも、必要な事業である。一方、指導ボランティアの発掘が急務である。
20	ひぎやわらベヨット教室	継続	4	4	・ヨット教室を通じ、子供たちが瀬戸内町の豊かな自然を体験し、再確認することはとても大切である。今後も参加者が増えるよう、継続していただきたい。
21	第31回瀬戸内町町民体育大会	継続	3	3	・参加者の減少と選手選考に苦慮している。楽しんで参加できる種目を検討し、参加者の増加を図る必要がある。また、見やすい工夫をしていただきたい。
22	ラジオ体操せとうち選手権	継続	3	3	・夏休みの生活習慣・リズムを向上させ、親子のコミュニケーションとして、とても大きな役割を担っている。今後も学校や地域の協力を頂きながら、継続していただきたい。
23	町子ども会活性化モデル事業	継続	3	3	・各地区の子ども会によって、活動内容に差があるように思われる。全地区の活動内容の把握に努め、モデル地区同士の交流活動を通じ、今後の子ども会活動の継続と活性化に向け、囁託員や地域の方々との連携を図り、子供たちの自主性やリーダーシップを育てるために事業内容の検討も図っていただきたい。
24	第40回瀬戸内町文化祭	継続	4	4	・文化活動の活性化の為に、文化協会への加入及び八月踊りの伝承活動の促進を図っていただきたい。
25	青少年団体歩こう会	継続			中止 毎年、町内外からの参加者も増加傾向にあり、島の自然を町外にPRする機会にもなるので、今後も継続して開催してもらいたい。